

❁単元名「この作品の魅力とは？」

このプリントは提出する必要はありません。
成績には関係ありません。

目標

登場人物の置かれた状況や言動に着目して人物像を捉える。

登場人物の生き方や考え方を捉え人間や社会について自分の意見をもつ。

❁この単元名に迫るためには、どのように考えていったらいいのだろう。

◇小説、物語作品では、場面の設定や作品の構成を捉えることが必要じゃないかな。

◇作者、作品の時代、書かれた背景が作品と密接に関わっていることもあったな。

◇人物の描かれ方に着目して、人物像について考えたり、互いにどう思っているかを考えたりする学習もしているな。

◇作者が作品の中に込めた工夫や表現の面白さについて考えたこともあるな。

◇作品を読んで、ここが魅力じゃないか、と自分なりに見出していききたいな。

❁学習のポイント📌は「言葉に着目し、分析する視点をもつこと」です。

課題① まずは、作品を音読しよう。

大声を出す必要はありません。自分だけに聞こえるくらい大きさで、言葉を丁寧に読んでみて下さい。
読みづらいな、意味が分からないといった言葉に印をつけるなどしながら読みましょう。

❁小説や物語作品には、「主人公」と呼ばれる人がでてくるものが多いのですが、さて、この作品では誰が主人公だと言えますか。「ルロイ修道士」だと考えた人は、温かく、愛にあふれたキャラクターに目をとめているのでしょうか。

❁確かに、ルロイ修道士は中心的人物と言えます。しかし、この作品で一番変化した人物は誰かと考えてみると、話者である「わたし」は、「ルロイ修道士」の存在から多くを学び、心を揺さぶられた人と言えるでしょう。

課題② この作品の中心人物「ルロイ修道士」の人物像を説明しよう。

学習の手順《1》「教科書の本文の、ルロイ修道士の行動や発言に線を引きながら読む。

《2》次の表にルロイ修道士という人が良く分かる行動や発言を書き出し、下の欄に人物像を明らかにしよう。

ルロイ修道士の行動や発言(本文から探す)	そこから見えてくる人物像(自分の言葉で書けばよい。)
園長でありながら、ルロイ修道士は訪問客との会見やデスクワークを避けていた。たいていは裏の畑や鶏舎にいて、子供たちの食料を作ることに精を出していた。	
「総理大臣のようなことを言っはけませんよ。だいたい、日本人を代表してものを言ったりするのは傲慢です。それに、日本人とかカナダ人とかアメリカ人といったようなものがあると信じてはなりません。一人一人の人間がいる、それだけのことですから。」	
天使園で育った子供が世の中へ出て、一人前の働きをしているのを見るときがいつでも楽しい。何よりもうれしい。そうそう、あなたは上川君を知っていますね。上川一雄君ですよ。」もちろん知っている。……	
上川君はいけない運転手です。けれども、そういうときがわたしにはいつでも楽しいですね。	

二十九ページの学習2に提示されているものはすでに書かれているので、

あとの二つの欄は自分でこらっていう所を探して書きたいな。

